

専門研修を広島・福山で開催

リーダーの育成・養成へ活用を

『専門研修』は、環境協が主催する研修で、公衆衛生推進委員や地球温暖化防止活動推進員を対象に、専門的な知識・技術の向上を目指し、環境づくり・健康づくりに関する学習や情報提供を行っています。

参加無料かつ、旅費も当協会が負担するので、積極的に活用いただき、公衛協・TEAMのリーダー育成・養成や組織強化に活用下さい。

今年度は、「防災・減災コース」「フレイル予防コース」「学習教材の活用方法習得コース」「広報ツールづくりコース」「企画づくりコース」の5つの研修を実施致します。

今年度開催した専門研修のうち、「フレイル予防コース」(6月29日・30日)と「学習教材の活用方法習得コース」(7月3日・4日)の様子を紹介します。

フレイル予防コース

公衛協を対象に募集し、9市町公衛協から24名が参加しました。まず始めに、当協会健康支援課の中田技師(保健師)が講義を行

い、フレイルのことを知ってからフレイル予防の3本柱である「食・口腔」「運動」「社会参加」について、実習、体験を通じて学習しました。

「食」は、料理カードを使ってカロリー、たんぱく質、塩分に気をつけて晩ごはんのメニューを考えてもらいました。参加者は、3項目の摂取量を気にしながら理想のメニューを作ったはずでしたが、塩分量が多かったことが分かり、反省していました。

「口腔」は、お口の健康O×クイズ、巻き舌(ピロピロ)を使うたお口の体操を行い、ました。

「運動」は、ストレッチボールを使った足裏ストレッチを行いました。

「社会参加」は、今年度全県共通事業重点メニューになった「STOPフレイル

り、学習会の開催などに役立てていただきたいと思います。

学習教材の活用方法習得コース

公衛協・TEAMを対象に募集し、7市町公衛協・3TEAMから21名が参加しました。

研修は、新しく導入した学習教材の紹介を軸として、教材の正しい使い方や、効果的な活用方法を学び、イベントへのブース出展や出前講座等に役立てていただくことをねらいとしました。

事業」を実施すると仮定して、「公衛協でSTOPフレイル事業をやってみた」と題して、どうしたら継続してフレイル予防を実施してもらえるか、公衛協の活動を通じて、地域住民が健康に暮らせるためにどうすればいいかを真剣に考えていただきました。現在実施している事業、行政や他の団体と協働するための工夫など、スタッフも勉強になりました。

まず始めに、ブース展示および出前講座を行う際に心がけるポイントを学んだ後、教材の正しい使い方として、自転車発電機「エネトレ」を実際に組み立て、自転車発電を行う際の注意点を学んだり、破損の多い手回し発電機の使い方を学びました。参加者からは、「思っていたより組み立てが難しい」「事前のリハースルが大切だ」などの声がありました。



健康科学センターの中田技師による講義(上)、料理カードを使って摂取量のバランスを考える参加者(中)、お口の健康O×クイズ(下)

効果的な教材の使い方の学習では、ブース出展について、「海ごみ標本BOX」「握力計」など新しく導入したグッズとその活用事例を紹介し、実際に会場内に設置した4つのブースを体験して回りました。また、出前講座に

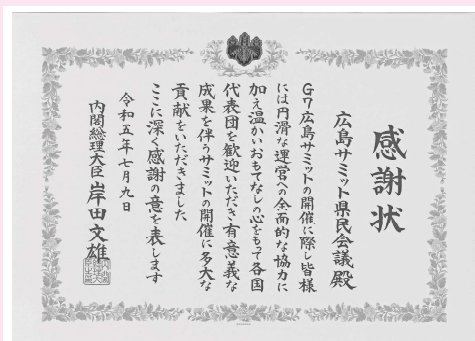
G7 広島サミットの開催協力に係る感謝状贈呈式に出席

環境協

去る7月9日(日)に、広島県庁本館6階講堂にて外務省主催による感謝状贈呈式が開催されました。岸田文雄内閣総理大臣をはじめ、湯崎県知事、松井市長が出席し、当協会からも兼森常務理事が出席しました。

5月19日から21日にかけて開催されたG7 広島サミットにおいて、開催協力した広島サミット県民会議構成団体関係者に対して、感謝状が贈られました。

当協会は、特に食の安全・安心への取り組みをはじめ、G7 広島サミットの開催に向けたPR活動なども行い、その取り組みに対して感謝状を頂きました。式典では、岸



田総理より「無事にサミットを終えたこと」への感謝のお言葉もあり、食品事故等もなく終えたことに、当協会も安堵した式典でした。

(食品衛生課 和田 貴臣)



集合写真:外務省提供



「エネトレ」の組み立て方を当協会職員と確認する参加者(上)、実習で作成したブースを紹介し、設定した対象や見せ方の工夫等を発表する参加者(下)

ついては、環境協職員が講師を務めた事例や、出前講座で活用できる貸出グッズの紹介などを行いました。実習では、教材を活

用したブース展示や出前講座の案を考え、意見交換を行いました。参加者からは、海ごみ問題や、フレイル予防、脱温暖化学習などに対

して、より興味・関心を持ってもらうための工夫を取り入れた、さまざまな案が出されました。

参加者が、研修で学んだことを地域の方に伝える、当協会の貸出グッズが活動の場で利用してもらえることを期待します。(地域活動支援センター)